

「日本の古生物学発祥の地」であること、世界一太い茎をもったウミユリや殻長が2 mに達する程の巨大な二枚貝シカマイア、他地域の同種化石と比べて数倍にもなる大きな巻貝や二枚貝が産出すること等、学術的な価値が高く特色のある赤坂石灰岩について紹介し、地質学や古生物学に関する興味関心を深めていただきたいと思います。「化石館だより」を書き始めました。特に計画もなく、思いつくままに書き続けてきましたが、5年を経過し今回60号となりました。これまでは化石を中心に書いてきましたが、今後はもう少し分野を広げ、陸産貝類や植物など「金生山の自然」についても紹介していこうと思います。いつまで続けられるかわかりませんがよろしくお願いします。

(館長：高木洋一)



お知らせ



前期企画展 **砂に埋もれた小さな化石**

期 間： 4月29日(金)～9月12日(月)

金生山の石灰泥から見つかる、小さな巻貝や二枚貝、ウニの棘やウミユリの茎、石灰藻、単体のフズリナや貝形虫、コノドントなど、普段は展示されることのない小さな化石を紹介します。金生山の石灰泥からは、巻貝や二枚貝、貝形虫などの新種がたくさん見つかっています。



小さな巻貝の破片



宝貝のストラップ作り

「わくわく体験」の新メニューです。海岸に打ち上げられた宝貝をきれいに磨き上げてストラップにします。打ち上げ貝には細かなキズがあり、くすんでいます。サンドペーパーで磨き、薬品で処理することで美しい輝きが出てきます。

問い合わせ： 大垣市金生山化石館 電話 (0584) 71-0950 (ファックスも同じ)
Email kasekikan@vanilla.ocn.ne.jp